

地域課題のリサーチ講座・地域課題の解決策を考える①



トータルコーディネーター：久慈 美穂 さん（株式会社 and more 代表取締役）

2016年に創業し、2022年株式会社化。街づくり、人づくりにつながる企画や事業のプロデュースの依頼を受けながら一般社団法人JBIA認定、Start-up Attendantとして女性のキャリア支援や起業相談、シェアオフィスand moreの運営を行なっている。“誰もが「自分らしさ」を最大限に発揮でき、そして「個」を尊重しながら活かしあうカルチャーが当たり前の地域を”そんな想いで、それぞれの強みを活かして輝ける場づくり・環境づくりに取り組んでいる。

久慈さんがこれまでどのように地域活動と関わり、そこから発展して企業化した現在について、事例を紹介しながら講義をしていただきました。

▶ 地域活動のこれまでの関わりと企業化へと発展させた現在

人と人、人と街が繋がりながら、街や地域の課題を解決しながら地域をデザインし、また人が交わる場づくりをしています。地域づくり団体にボランティアでイベント企画運営をし、大変でしたが地域活動と人の役に立つことが嬉しいと感じていました。

現在具体的には、中間支援・地域づくりコーディネーター、シェアオフィスの運営、起業相談・起業支援などを行っています。ボランティア的なところから仕事になってきています。



▶ 自身の活動の原動力を探る

これまでの人生を振り返り書き出してみると、原点となる部分が見えたり、大事にしたいことに気づくことがあります。なぜ今自分がこれをしたのか、自分らしく働くとはどういうことなのか、人生のポイントが見えてきます。自分の中で定義づけしたり、ボランティアとビジネスの線引きをしておく、楽なこともたくさんあります。



▶ 大事にしているポイント

- ◇自己理解と他者理解
- ◇自分（たち）の強みや特徴×地域の課題（ニーズ）を捉える
- ◇挑戦と学びの姿勢
- ◇終わらない自分自身や地域にとっての「幸せ」の探求！
- ◇パーソナルブランディングの構築など
- ◇地域課題から身近な課題へフォーカス

自分が取り組みたい事

つがる市の課題
自分が身近に感じる課題

活動をしていて思うことは、無理をし過ぎないことです。ずっとダッシュはできません。細く長く頑張るつもりで取り組むと良いと思います。

自己理解と他者理解を図るために、グループワークで自己紹介を行いました。それから“地域の課題と感じること”や“自分がやりたいこと”を書き出す作業を行いました。次回からは、受講生が取り組みたい課題ごとにグループとなり、解決策を考えていきます。

参加者の声

* 市民活動・ボランティアベースからビジネス・収入に結びつける、とても思いがあってもそこがむずかしいと私も感じています。セルフプロデュースというお話も納得する興味深いお話でした